

環境経営レポート

2024 年度

《 63期 》

【対象期間 2024 年 8 月～2025 年 7 月】



発行日：2025年9月25日

大邦テクノプラント株式会社

目 次

1. 組織の概要		P.1
2. 対象範囲		P.1
3. 環境経営方針		P.2
4. 環境管理実施体制		P.3
5. 環境経営目標・実績		P.4～5
6. 環境経営計画及び結果とその評価		P.5
7. 原価単位における実績とその評価		P.6～12
8. 環境関連法規等の遵守状況及び違反訴訟などの有無		P.13
9. 代表者による全体の評価と見直し		P.13
10. 次年度の環境経営計画及び目標		P.14～15

1. 組織の概要

【事業所名】 大邦テクノプラント株式会社

【代表者名】 代表取締役 藤森 健

【所在地】 〒731-0102 広島県広島市安佐南区川内 6 丁目 26-4

【環境管理責任者氏名及び連絡先】

環境管理責任者 : 池田 智亮
TEL : 082-876-0180
FAX : 082-876-1770
E-mail : info@taiho-t.co.jp

【事業活動内容】 電気設備・情報通信設備の設計・計画・工事

<建設業許可>

許可番号 広島県知事 許可（特-2）第 001229 号
許可の有効期限 2025 年（令和 7 年）10 月 14 日
建設業の種類 電気工事業、電気通信工事業
電気工事届出番号 広島県知事届出 第 46115 号

【事業規模】

設立年月日 1962 年（昭和 37 年）3 月 6 日
資本金 3,000 万円
完成工事高 912,260 千円
総従業員数 13 人（2025 年 7 月 31 日現在）
事業所延べ床面積 592.96 ㎡

2. 対象範囲

【認証・登録範囲】

対象事業所 : 本社
対象活動 : 全活動

3. 環境経営方針

〈環境経営方針〉

大邦テクノプラント株式会社は、電気設備工事を通して地域の環境保全活動に積極的に参画し、環境に配慮した経済活動を以て、従業員の安全と健康を第一に地域社会の発展と地球環境保全を目指して継続的な改善に取り組んで参ります。

〈行動指針〉

1. 環境関連法規制を遵守します。
2. 事業活動におけるCO₂排出量の削減に努めます。
3. 事業活動における廃棄物分別の徹底と排出量削減に努めます。
4. 建設現場等での建設リサイクル、再生資源の利用を推進します。
5. 適切な利用により水使用量の削減に努めます。
6. 地域貢献活動を推進します。
7. 環境に配慮した設計・施工に努めます。
8. 快適な職場づくりを目指し、従業員の健康づくりに努めます。
9. 環境経営レポートを毎年作成し、全従業員に周知し、且つ一般に公開します。

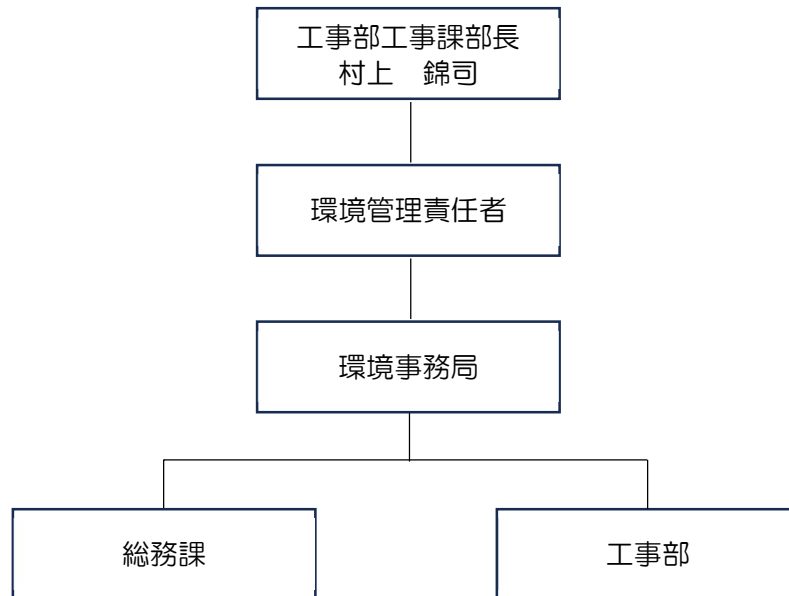
制定日：2020年 9月 1日

改定日：2022年 9月 1日

大邦テクノプラント株式会社
工事部工事課部長 村上 錦司

4. 環境管理実施体制

エコアクション21 実施体制図



代表者 工事部工事課部長 村上 錦司	・環境経営に関する統括責任 ・環境管理責任者を任命 ・代表者による全体の評価と見直しを実施 ・環境経営方針の策定・見直し及び全従業員へ周知 ・環境経営目標・環境経営計画書を承認 ・環境経営レポート承認
環境管理責任者 池田 智亮	・環境経営システムを構築・実施・管理 ・環境関連法規制等の取りまとめ表を承認 ・環境経営目標・環境経営計画を確認 ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口 ・緊急事態対応手順のテスト、訓練の指導及び総括 ・環境経営計画の実施結果を代表者へ報告 ・環境経営レポートの確認 ・環境関連法規制等遵守評価の実施
環境事務局 玉木 光一郎	・環境管理責任者の補佐 ・環境負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェックの実施 ・環境経営目標、環境経営計画書原案の作成 ・環境関連法規制等取りまとめ表の作成 ・環境教育訓練計画の作成と実施 ・特定された項目の手順書作成（緊急事態への対応を含む） ・環境経営目標の実績集計、評価 ・環境経営レポートの作成及びチェック、公開
工事部・総務課 部門長	・自部門における環境経営システムの運用 ・自部門の問題点の発見・是正・予防措置 ・自部門に関連する法規制等を遵守する ・自部門の教育を実施する
全従業員	・環境経営方針を理解し、環境への取り組みの重要性を自覚 ・環境経営システムの自主参加

5. 環境経営目標・実績 2024年8月～2025年7月

○環境経営目標の達成手段

1) 二酸化炭素排出量の削減

取組目標		達成手段	
1	電力使用量の削減	1	エアコンの適正使用（室内：夏 28℃、冬 20℃）
		2	不要な照明の消灯（お昼時間（12 時から 13 時）消灯）
		3	不使用パソコンの電源消灯
2	ガソリン・軽油使用量の削減	1	エコドライブの推進
		2	車両の定期点検

2) 廃棄物排出量の削減

取組目標		達成手段	
1	一般廃棄物排出量の削減	1	分別の徹底
		2	ペーパーレス化の推進
		3	両面印刷の促進
2	産業廃棄物排出量の削減	1	産業廃棄物の適正な処理
		2	マニフェストの管理の徹底
		3	建設混合廃棄物の削減
		4	発注前に再確認し、無駄な発注の削減
		5	紙を産廃ではなく、リサイクルへ適正処理
3	建設リサイクルの推進	1	特定建設資材の適正な処理
		2	再生資源を積極的に利用
		3	発生材の分別をこまめに行い、リサイクル化を推進

3) 水使用量の削減

取組目標		達成手段	
1	水使用量の削減	1	各自で節水、掲示物の取付

4) 快適な職場づくり

取組目標		達成手段	
1	時間外の削減	1	月 14 時間/人以内、残業実績表の展開（週に 1 回）
2	有休取得率の向上	2	有休取得 付与日数の 50%以上/年

5) 中期環境経営実績

年 度 項 目		基準年度実績 (2023 年度)	本年度実績(2024 年度) 2024 年 8 月～2025 年 7 月			中期目標	
		(基準値)	(目標)	(実績)	(達成度)	2025 年度 (目標)	2026 年度 (目標)
電力使用量の削減	kWh	19,266	19,073	20,762	92%	18,881	18688
	対基準年		△1%			△2%	△3%
二酸化炭素排出量①	kg-CO ₂	12,253	12,131	13,205		12,008	11,886
ガソリン・軽油 使用量の削減	ℓ	10,351	10,247	8,492	121%	10,144	10,040
	対基準年		△1%			△2%	△3%

項 目		年 度	基準年度実績 (2023 年度)	本年度実績(2024 年度) 2024 年 8 月～2025 年 7 月			中期目標	
				(目標)	(実績)	(達成度)	2025 年度	2026 年度
			(基準値)				(目標)	(目標)
二酸化炭素排出量②	kg-CO ₂		24,507	24,262	20,210		24,017	23,772
二酸化炭素排出量 計 ①+②	kg-CO ₂		36,760	36,392	33,415	109%	36,025	35,657
一般廃棄物の削減 (可燃ごみ)	kg		106	105	80	131%	104	103
	対基準年			△1%			△2%	△3%
産業廃棄物の削減	kg		9,724	9,627	20,620	46%	9,530	9,432
	対基準年			△1%			△2%	△3%
建設リサイクルの推進 特定建設資材の適正な処理	%		84%	85%	84%	△	86%	87%
水使用量の削減	m ³		190	188	217	87%	186	184
	対基準年			△1%			△2%	△3%
化学物質使用量削減 (適正管理)	—		適正管理	適正管理	適正管理	○	適正管理	適正管理
快適な職場づくり	時間外 時間		2,594	2,568	2,059	125%	2,542	2,516
	対基準年			△1%			△2%	△3%
環境に配慮した施工	%		100%	100%	100%	○	100%	100%

※ 電力の二酸化炭素排出量への排出係数は、中国電力2018年度実績0.636kg-CO₂/kWh（調整後排出係数を使用）
 ※ 一般廃棄物は可燃ごみを対象とし有価物は除く。※事務所、工事現場ともに環境負荷は低いため、一括して目標設定する。

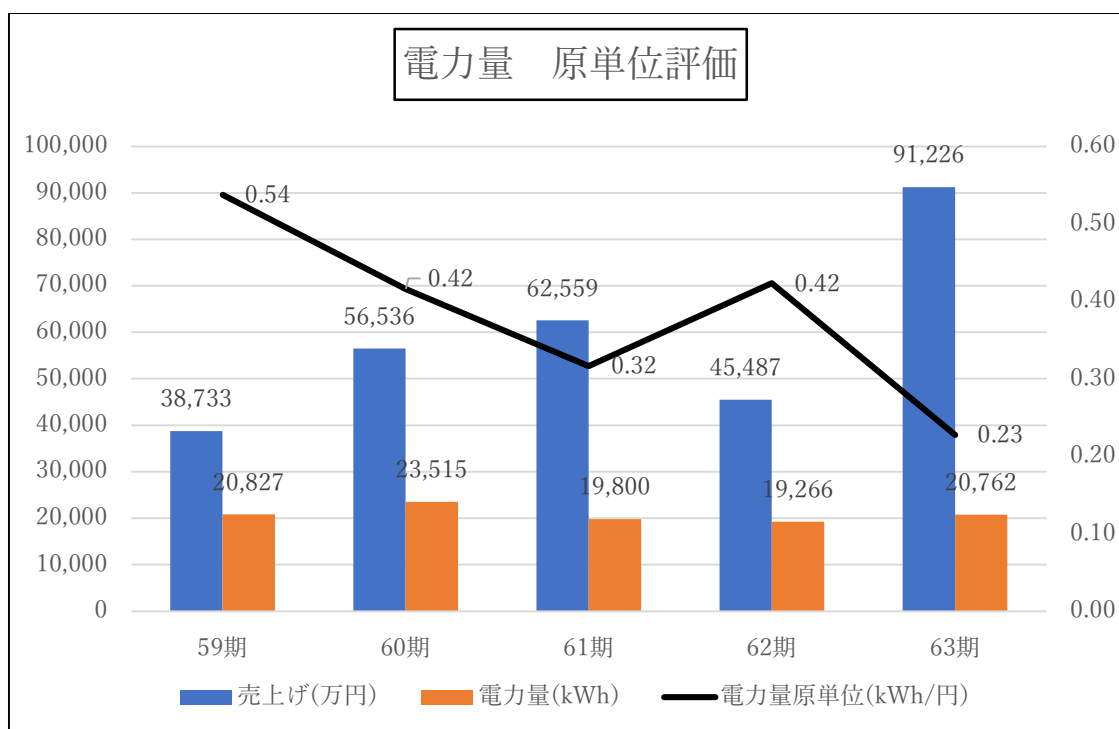
6. 環境経営計画の結果とその評価（2024 年 8 月～2025 年 7 月）

方針	目標数値	実績	評価
二酸化炭素排出量 (kg-CO ₂)			
電力使用量の削減	12,131	13,205	×
自動車燃料の削減 (ガソリン, 軽油)	24,262	20,210	○
廃棄物排出量の削減 (kg)			
一般廃棄物の削減	105	80	○
産業廃棄物の削減	9,627	20,620	×
建設リサイクルの推進 (%)	85	84	△
水使用量の削減 (m ³)	178	217	×
化学物質使用量削減 (適正管理)	適正管理	適正管理	○
快適な職場づくり (時間)	2,568	2,059	○
環境に配慮した施工 (%)	100	100	○

7. 原価単位における実績とその評価（59期～63期）

○売上と電力量(kWh)における原単位評価

	売上（万円）	電力消費量（kWh）	電力消費量原単位（kWh/円）
59期	38,733	20,827	0.54
60期	56,536	23,515	0.42
61期	62,559	19,800	0.32
62期	45,487	19,266	0.42
63期	91,226	20,762	0.23



◇達成状況/是正策（実施責任者）

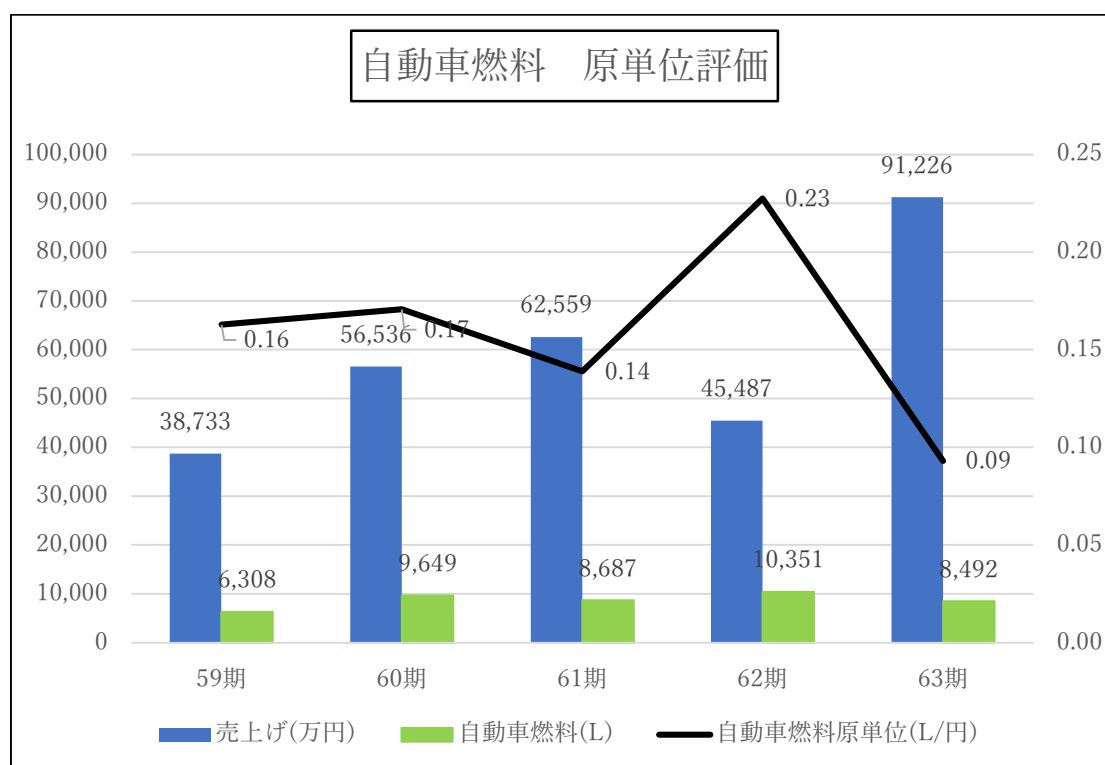
電力消費量は昨年とほぼ横ばい、目標値としては達成が出来なかった。原単位としては達成が出来た。削減はできなかったが、電力量の削減の意識は各々が出来ながら業務を行っていると思います。引続き継続していきます。

◇評価/指示（環境管理責任者・代表者）

電力消費量は61期よりほぼ横ばいで、意識づけは出来ていると思います。来期以降は、もう一步踏み込んだ削減対策を進めていけるように計画をお願い致します。事務所の照明をLEDに交換をしていますので効果を期待します。

○売上と自動車燃料(ℓ)における原単位評価

	売上(万円)	自動車燃料(ℓ)	自動車燃料原単位(ℓ/円)
59期	38,733	6,308	0.16
60期	56,536	9,649	0.17
61期	62,559	8,687	0.14
62期	45,487	10,351	0.23
63期	91,226	8,492	0.09



◇達成状況/是正策 (実施責任者)

売り上げが上がり、比較的遠方の現場が少なかったこともあり、燃料の削減ができ、原単位の値も大幅に下がりました。

今期より平均燃費も確認できるように書式を変更しているので、燃料削減と共に燃費向上に努めていきたい。

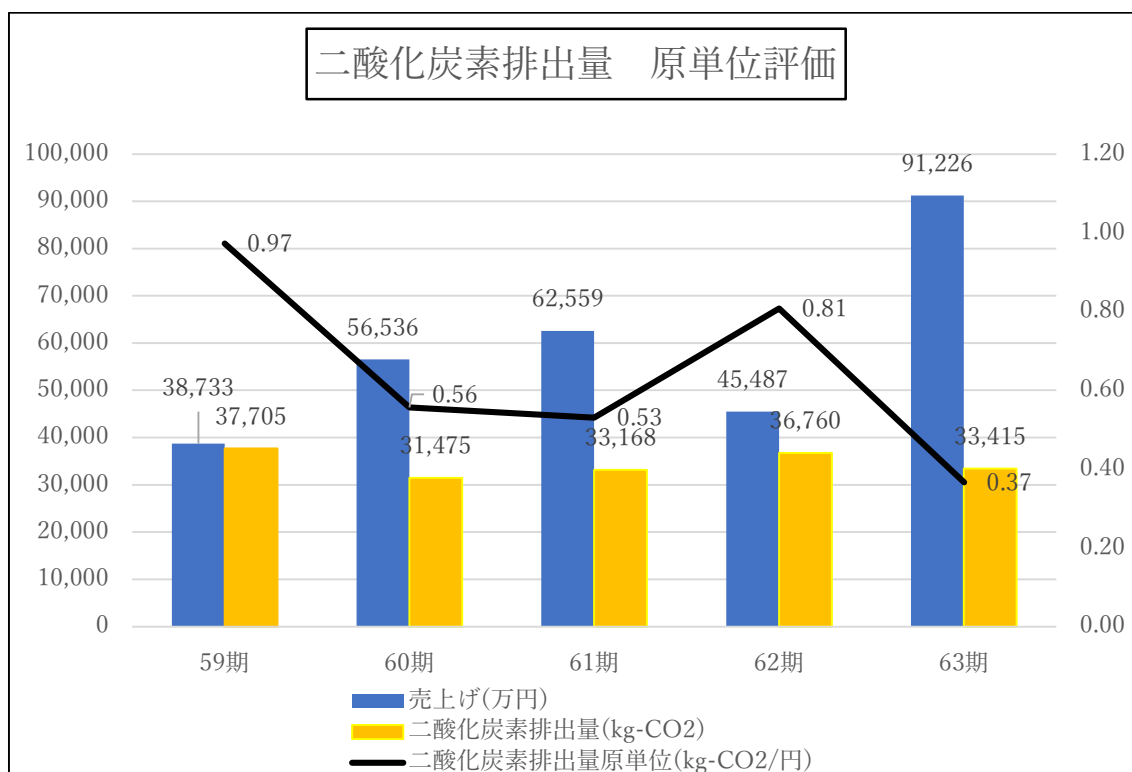
◇評価/指示 (環境管理責任者・代表者)

燃料削減、原単位と両方に改善が見られました。

今後は、平均燃費を見える化して日々エコドライブが実践していけるようにしていきましょう。

○売上と二酸化炭素排出量(kg-CO₂)における原単位評価

	売上(万円)	CO ₂ 排出量(kg-CO ₂)	CO ₂ 排出量原単位(kg-CO ₂ /円)
59期	38,733	37,705	0.97
60期	56,536	31,475	0.56
61期	62,559	33,168	0.53
62期	45,487	36,760	0.81
63期	91,226	33,415	0.37



◇達成状況/是正策 (実施責任者)

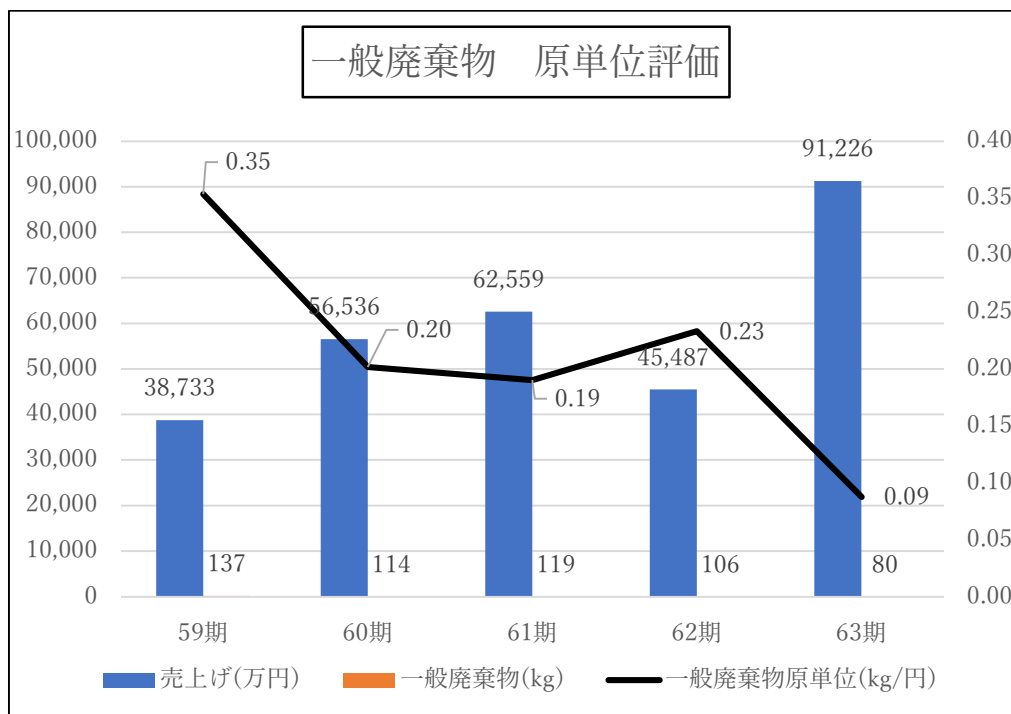
CO₂排出量は前期より燃料費が削減出来たことにより、目標値達成が出来ました。原単位については売り上げが多かったこともあり、大幅に削減が出来ています。ほぼ横ばいな数値が続いています。

◇評価/指示 (環境管理責任者・代表者)

原単位を売上げにしていますので、毎年増減によって影響があると思います。年末から年度末にかけての繁忙期に業務を効率的に、残業を削減するかにもよって使用電力量が削減でき、CO₂排出量削減に大きく関わると思いますので各上長へ残業の管理、業務の平準化を指示していきましょう。また、残業申請書の提出を徹底してください。

○売上と一般廃棄物(kg)における原単位評価

	売上(万円)	一般廃棄物(kg)	一般廃棄物原単位(kg/円)
59期	38,733	137	0.35
60期	56,536	114	0.20
61期	62,559	119	0.19
62期	45,487	106	0.23
63期	91,226	80	0.09



◇達成状況/是正策 (実施責任者)

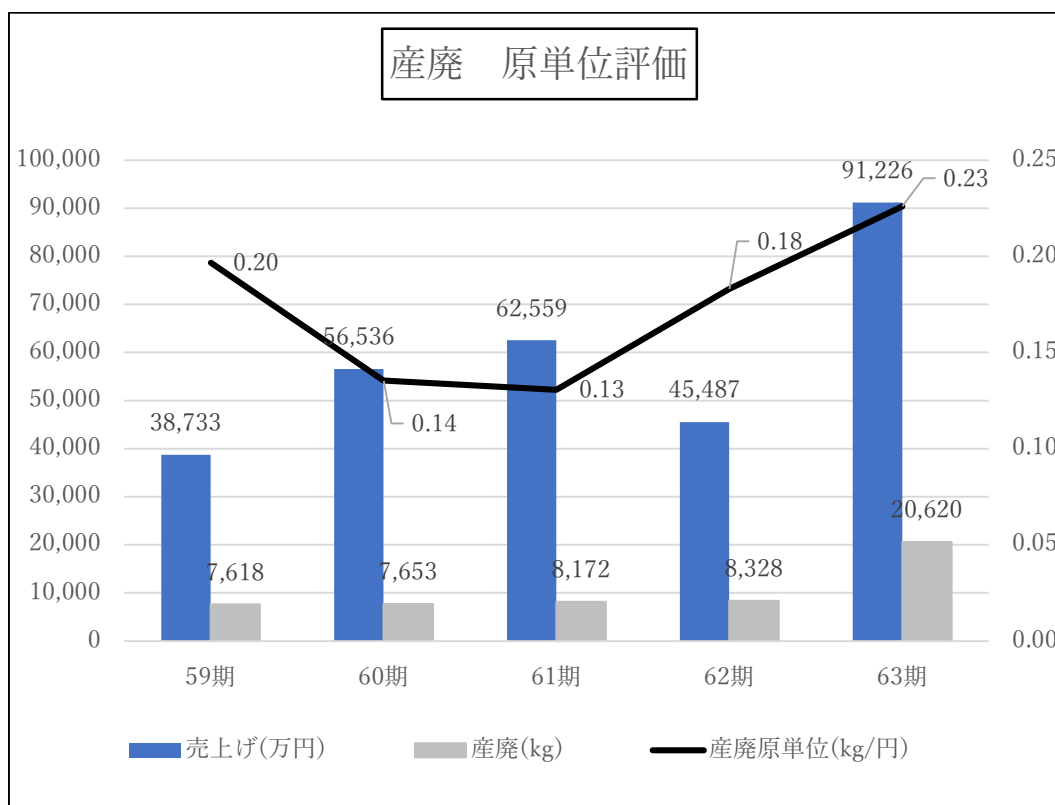
引き続き、一般ごみの分別が継続出来ており、削減が出来ました。
来期も分別の継続、削減が出来るように進めていきたい。

◇評価/指示 (環境管理責任者・代表者)

2期連続で削減出来ており、各々の意識ある行動が数値として現れました。
売上が上がると増えると思いましたが、削減が出来たことは大きな成果
だと思います。引き続き頑張りましょう。

○売上と産業廃棄物(kg)における原単位評価

	売上(万円)	産業廃棄物(kg)	産業廃棄物原単位(kg/円)
59期	38,733	7,618	0.20
60期	56,536	7,653	0.14
61期	62,559	8,172	0.13
62期	45,487	8,328	0.18
63期	91,226	20,620	0.23



◇達成状況/是正策 (実施責任者)

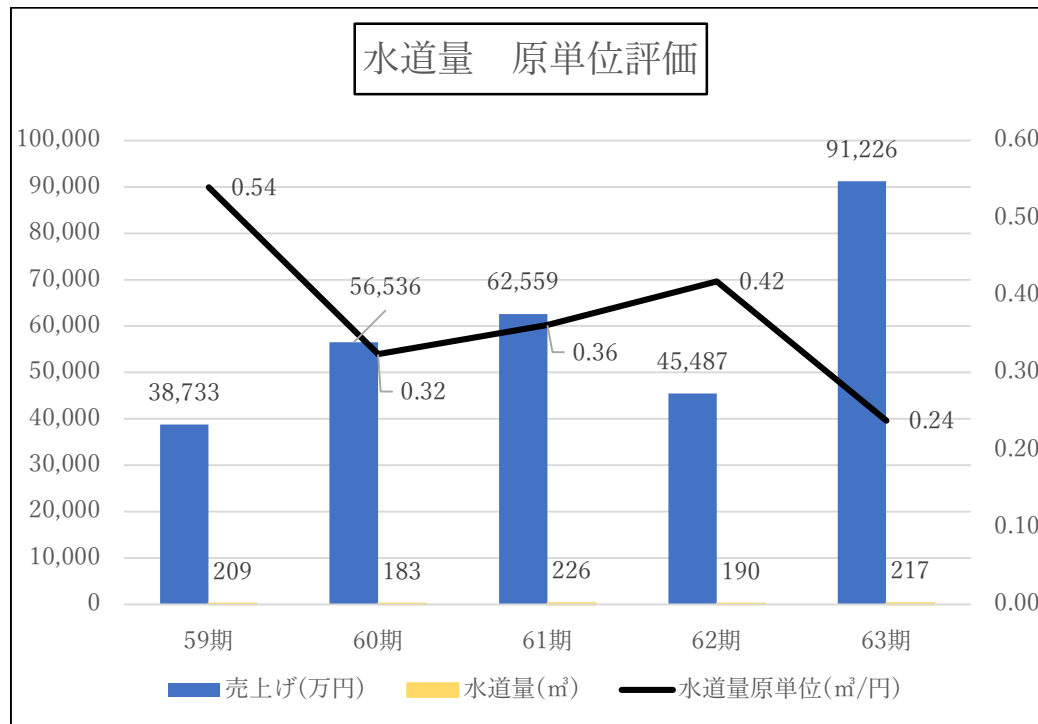
今期は事務所の改装工事を実施したこともあり、多くの不用品等を出したため、大幅に産業廃棄物の量が俗化しました。今期は例外な部分が多いため、来期は前期の値に戻せるように改めて活動を進めていきたい。

◇評価/指示 (環境管理責任者・代表者)

達成状況にもあるように今期は事務所改装を実施したため産業廃棄物の排出量が大幅に増加しました。
来期は 62 期の排出量以下に戻していけるように、改めて周知・声掛けを実施し進めてください。

○売上と水使用量(m³)における原単位評価

	売上(万円)	水使用量(m³)	水使用量原単位(m³/円)
59期	38,733	209	0.54
60期	56,536	183	0.32
61期	62,559	226	0.36
62期	45,487	190	0.42
63期	91,226	217	0.24



◇達成状況/是正策 (実施責任者)

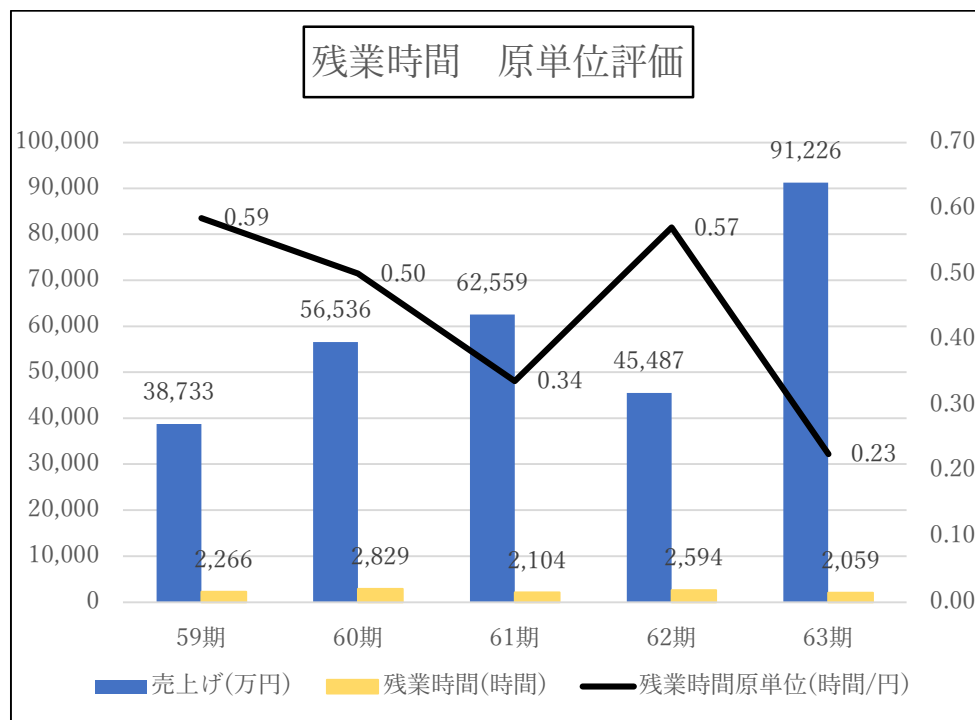
事務所改装工事での水の使用等により水道料が増加したと思われます。原単位に関しては、売り上げが増えたことにより、大幅に削減が出来た形となりました。来期は、売り上げ云々ではなく、使用量が削減出来るようにしていきたい。

◇評価/指示 (環境管理責任者・代表者)

来期は、前期の水道料を目安として活動を進めていきましょう。改めて周知・声掛け、水道削減の掲示物の取付等を行ってください。

○売上と残業時間(時間)における原単位評価

	売上(万円)	残業時間(時間)	残業時間原単位(時間/円)
59期	38,733	2,266	0.59
60期	56,536	2,829	0.50
61期	62,559	2,104	0.34
62期	45,487	2,594	0.57
63期	91,226	2,059	0.23



◇達成状況/是正策 (実施責任者)

前期より削減が出来ました。週に 1 回残業実績を発信することにより各員がより削減の意識が出来、計画的に業務を進めることが出来ているからだと思います。来期も引き続き削減に努めたい。

◇評価/指示 (環境管理責任者・代表者)

残業実績を発信することで、削減が出来てきたのだと思います。残業の申請書を含め継続をお願い致します。来期も残業の付替えとならないような業務分担を心掛けてください。残業を削減することで電力消費量、二酸化炭素排出量の削減に繋がります。

8. 環境関連法規等の遵守状況及び違反訴訟などの有無

2025 年 7 月に下記の環境関連法規の遵守状況を確認した結果、違反は有りませんでした。また、関係機関からの指摘、利害関係者等からの訴訟及び苦情も有りませんでした。

主な環境関連法規名	主な遵守事項	遵守状況
建設リサイクル法 (建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律)	建設廃棄物の発生とリサイクル推進特定建設資材廃棄物の分別・再資源化	○
廃棄物処理法 (排出事業者として)	産業廃棄物処分委託 マニフェストの交付・管理 産業廃棄物の保管基準	○
フロン排出抑制法	室外機の圧縮機の電気出力が 7.5kW を越える機器は 3 年に 1 回の定期点検、7.5 kW 以下の機器を含め 3 か月に 1 回の簡易点検実施	○
道路交通法	年 1 回の安全運転管理者等の法定講習の受講 毎月の車両点検、運行管理月報の作成	○

9. 代表者による全体の評価と見直し

事業所の改装に伴い、産廃搬出量、電気・水道の使用量が突発的に増加することとなりましたが参考値として全体数量から省いて検証することの一つかもしれません。経年劣化した機材の処分を進める中で当たり前に使用していた機材も安全面や機能面において、昨今の機材と比べた時に軽量化や省力化において見劣りするのを改めて感じました。

直接作業を行う機会は少ないながらも業界全体での人的リソースが不足する中で、積極的に省力化を進めて行くことで運搬コストの削減や作業者の負担軽減を通じて現場全体の省エネにつなげていきましょう。導入については、管理性や常備性を考慮し、リースなども視野に入れ今後検討してください。

記録的猛暑が続いた夏場において冷房使用に起因する電気使用量の増加はいたしかたない部分も多く、短慮な削減は健康被害に直結するリスクが高いことから事業所において大きな削減は非常に難しいと考えられますが、こまめな消灯や省エネ性能の高い製品への置き換えなど工夫していきましょう。

労働者不足や高齢化の問題のほか時間外労働の上限規制など建設業界全体としては非常に厳しい条件が続くなかで、業務の集中化やメンタルに支障をきたすなどといった課題が顕在化してきていると考えられます。社内 DX をはじめ社内外を問わずコミュニケーションを強化し、多様な働き方に柔軟に対応して行く事で労働時間の平滑化を図り改善して行くことで心身ともに健康的な職場づくりを進めていきましょう。

10. 次年度の環境経営計画及び目標

環境経営計画（65期：2025年8月1日～2026年7月31日）

1) 二酸化炭素排出量の削減

取組目標		達成手段	
1	電力使用量の削減	1	エアコンの適正使用（室内：夏 28℃、冬 20℃）
		2	不要な照明の消灯（お昼時間（12 時から 13 時）消灯）
		3	不使用パソコンの電源消灯
2	ガソリン・軽油使用量の削減	1	エコドライブの推進
		2	車両の定期点検
		3	車両の点検整備を 1 ヶ月に 1 回行う
		4	不要な荷物を降ろし、車内の整理整頓

2) 廃棄物排出量の削減

取組目標		達成手段	
1	一般廃棄物排出量の削減	1	分別の徹底
		2	ペーパーレス化の推進
		3	両面印刷の促進
2	産業廃棄物排出量の削減	1	産業廃棄物の適正な分別・処理と紙のリサイクル
		2	マニフェストの管理の徹底
		3	建設混合廃棄物の削減
		4	発注前に再確認し、無駄な発注の削減
		5	紙を産廃ではなく、リサイクルへ適正処理
3	建設リサイクルの推進	1	特定建設資材の適正な処理
		2	再生資源を積極的に利用
		3	発生材の分別をこまめに行い、リサイクル化を推進

3) 水使用量の削減

取組目標		達成手段	
1	水使用量の削減	1	各自で節水、掲示物の取り付け
		2	社用車の洗車時の節水の励行

4) 化学物質使用量削減（適正管理）

取組目標		達成手段	
1	化学物質使用量の把握及び適正管理	1	SDS を利用した PRTR 法該当化学物質の確認及び把握
		2	必要に応じて PRTR 法該当以外の化学物質への変更

5) 快適な職場づくり

取組目標		達成手段	
1	時間外の削減	1	月 20 時間/人以内（早朝移動残業は除く）
		2	残業許可申請書の提出の徹底
		3	残業実績表の展開（週に 1 回）
2	有休取得率の向上	1	有休取得 付与日数の 50%以上/年

中期環境経営目標

環境経営目標	単位	基準年	目標			
		2024 年度 （63 期）	2025 年度 （64 期）	2026 年度 （65 期）	2027 年度 （66 期）	
(1) 電気使用量削減	kWh	20,762	(1%減) 20,554	(2%減) 20,347	(3%減) 20,139	
(2) ガソリン使用量削減	ℓ	6,796	(1%減) 6,728	(2%減) 6,660	(3%減) 6,592	
(3) 軽油使用量削減	ℓ	1,696	(1%減) 1,679	(2%減) 1,662	(3%減) 1,645	

環境経営目標	単位	基準年	目標			
		2024 年度 (63 期)	2025 年度 (64 期)	2026 年度 (65 期)	2027 年度 (66 期)	
2) 一般廃棄物排出量の削減	kg	80	(1%減) 79	(2%減) 78	(3%減) 78	
3) 産廃排出量の削減	kg	20,620	(1%減) 20,414	(2%減) 20,208	(3%減) 20,001	
4) 水使用量の削減	m ³	217	(1%減) 215	(2%減) 213	(3%減) 210	
5) 化学物質使用量削減 (適正管理)	—	適正管理	適正管理	適正管理	適正管理	
6) 快適な職場づくり	時間	2,059	(1%減) 2,038	(2%減) 2,017	(3%減) 1,997	

※ 電力の二酸化炭素排出量への排出係数は、中国電力2018年度実績0.636kg-CO₂/kWh（調整後排出係数を使用）

※ 一般廃棄物は可燃ごみを対象とし有価物は除く。事務所、工事現場ともに環境負荷は低いため、一括して目標設定する。

※ 2025 年度 64 期は 2025 年 8 月 1 日～2026 年 7 月 31 日

※ 2026 年度 65 期は 2026 年 8 月 1 日～2027 年 7 月 31 日

※ 2027 年度 66 期は 2027 年 8 月 1 日～2028 年 7 月 31 日

※ 2024 年度の CO₂ 総排出量は 33,414kg-CO₂/年でした。